

令和4年度 前期学校評価アンケート(訂正)

児童・保護者・教職員いずれも80%以上の項目

下線:75%以下の項目

青字:今年度の重点「かかわりの中で、自他の成長やよさを実感できる子」の育成に特に関連する項目

赤字:学校経営方針「温かい学校風土の醸成と発達支援教育を核とした学校運営の推進」に特に関連する項目

質問内容	児童				保護者				教職員			
	R4 前期		R3 後期	R3 前期	R4 前期		R3 後期	R3 前期	R4 前期		R3 後期	R3 前期
	あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる		あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる		あてはまる + だいたいあてはまる	あまりあてはまらない + あてはまらない	あてはまる + だいたいあてはまる	
① 以前よりも、気持ちのよいあいさつができるようになっている。	87%	13%	90%	88%	<u>75%</u>	21%	76%	71%	<u>64%</u>	36%	88%	50%
② 以前よりも、周りの人に対して、時と場に応じた言葉づかいや優しい言葉づかいができるようになっている。	83%	17%	84%	83%	76%	20%	79%	76%	<u>54%</u>	46%	58%	50%
③ 自分なりの目標をもち、運動や健康づくりに取り組んでいる。	86%	14%	86%	86%	<u>73%</u>	25%	73%	68%	<u>72%</u>	28%	77%	93%
④ 運動や体力づくりをしたり、健康に気を付けて生活したりすることができるようになってきた。	86%	14%	86%	86%	<u>68%</u>	30%	71%	66%	<u>69%</u>	31%	84%	79%
⑤ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、学習に取り組んでいる。	86%	14%			76%	18%			85%	15%		
⑥ 学習や行事を通して、自分が「できるようになったこと」や「分かったこと」に気付いている。	88%	12%	88%	88%	86%	11%	87%	84%	82%	18%	91%	95%
⑦ 楽しく学校に通っている。	89%	11%	87%	86%	92%	7%	89%	90%	95%	0%	95%	100%
⑧ 「成長している」という思いをもっている。	87%	13%	88%	87%	87%	8%	78%	77%	90%	10%	88%	83%
⑨ 自分のよさに気付いている。	86%	14%	85%	86%	<u>73%</u>	20%	74%	70%	77%	23%	84%	76%
⑩ 周りの人のよさや成長を見つけている。	91%	9%			79%	15%			85%	15%		
⑪ 人の話を聞くことができている。	93%	7%			79%	20%			<u>69%</u>	31%		
⑫ 人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている。	89%	11%			90%	7%			95%	5%		
⑬ 自分の目標や自分で決めたことに向かって努力している。	89%	11%	89%	89%	<u>73%</u>	24%	76%	74%	82%	18%	93%	88%
⑭ 先生は、わたしが困っているときや分からないときに、助けてくれる。	94%	6%										
⑮ 学校は、子供たち一人一人を大切にした指導・支援に努めている。					80%	12%						
⑯ 学校は、たよりやブログなどを通して、家庭に学校での様子がよく分かるように伝えている。					83%	13%	80%	78%	92%	8%		

※ 児童・保護者・教職員のいずれの評価も高い項目:⑥、⑦、⑧、⑫、⑭・⑮、⑯

※ 児童と保護者・教職員の評価に乖離がある項目:①、②、⑨、⑪

前期学校評価の結果を踏まえた分析と今後の取り組み・方向性

1学期の取り組み

☆ 学校経営方針…「温かい学校風土の醸成と発達支援教育を核とした学校経営の推進」

→ 聞く指導に力をいれる、子供の声に丁寧に耳を傾ける、互いのよさを認める活動、相手を温かくする言動(ふわふわ言葉など)についての話し合いや掲示 など

★ 今年度の重点…「かわりの中で、自他の成長やよさを実感できる子の育成」

→ 友達のよさを認める活動・掲示(具体的に言語化や視覚化する取り組み)、授業における対話やグループ活動、学級目標の振り返り など

本校の子供たちのよさ・成長

素直で、明るい

他への思いやり、優しさ

本校の子供たちの課題

自己肯定感・自己有用感

挨拶・言葉づかい・コミュニケーション

判断力、規範意識

主体性・自主性



今後の取り組み・方向性

○ 子供同士の人間関係づくり(=「絆づくり」「横糸をつなぐ」)を進める。

- ・ 認め合う場を設定し、継続していく。
- ・ 絆づくりのための場(学級・学年イベントや学校行事など)を設定する。
- ・ 授業における「聴き合う」(友達の話を聴き考える)指導に力を入れる。
- ・ 望ましい人間関係づくりについて学ぶ場や体験する場を設定する。
→ 道徳の時間、学級活動、エンカウンター、ソーシャルスキルなど

○ ルールやマナー、挨拶や言葉づかいに対する理解を深めさせる。

- ・ 目的や意図(なぜ必要なのか?)について、丁寧に伝えていくとともに、子供自身が考えることができる場を設定する。
- ・ 具体的な場面を取り上げ、判断したり、体験したりする場を設定する。
→ 道徳の時間、学級活動、エンカウンター、ソーシャルスキルなど
- ・ 地域や外部の人材も含めた多様な他者と関わることのできる学習活動や体験活動を設定し、社会性や行動力を高めていく。

○ 自分(たち)で気付き・考え・行動できる機会や体験を設定する。

- ・ 子供(たち)のアイデアを実現させる場を増やす。
→ 係活動、学級イベント、委員会活動など
- ・ 生活上の課題に気付く場や話し合う場を大切にする。
→ 特別活動(話し合い活動や係活動、委員会活動)や総合的な学習など
- ・ 子供(たち)の自主的・主体的な行動をきちんと価値づけていく。
- ・ 子供(たち)が困ったときなどに、すぐに指示や答えを与えるだけでなく、問い掛けたり考えさせたりする場も大切にしている。

○ 目標設定と振り返りの場を大切にする。

- ・ 音楽発表会(重点行事)や日常の授業における取り組み。
- ・ 個人目標や学級目標の振り返りを丁寧にいう。

◎児童アンケート結果・保護者アンケート結果より

<成果>

- ・ アンケート項目「毎日楽しく学校に通っている」が、保護者・児童ともに高かったです。教職員アンケートにおいても、同様の結果が出ました。保護者や地域の皆様の御協力により、子供たちの学校生活が充実していることが分かりました。
- ・ アンケート項目「人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている」が、保護者・児童ともに高かったです。教職員アンケートにおいても、同様の結果が出ました。こうした児童の人を思いやる気持ちや姿勢を生かして、今年度の学校経営方針「温かい学校風土の醸成」の実現を目指していききたいと思います。
- ・ アンケート項目「自分はよくなっている（成長している）という思いをもっている」が、保護者・児童ともに高かったです。昨年度から、本校は「自らの成長の実感」を重点方針の一つに掲げて教育活動を進めてまいりました。着実な成果となって表れてきました。今後は、友達を始め、周囲の人の成長やよさにも目を向けられるようにしていきたいと考えています。

<課題>

- ・ アンケート項目「自分のよさに気付いている」が、保護者でやや低かったです。教職員アンケートにおいても、同様の課題が出ました。学校生活や家庭生活で発揮している子供のよさを共有・称揚していくとともに、子供同士が互いのよさを認め合う取り組みを進めていく必要性を感じました。学校・家庭・地域が連携して、今年度の重点方針「かかわりの中で、自他の成長やよさを実感できる子の育成」に迫っていききたいと思います。
- ・ アンケート項目「以前よりも周りの人に対して、時と場に応じた言葉づかいや優しい言葉づかいができるようになっていく」「以前よりも、気持ちのよいあいさつができるようになっていく」が、保護者と教職員でやや低かったです。相手の気持ちを考えた適切な言動、基本的なマナーや礼儀を育てていく必要性を感じました。

◎保護者自由記述より

自由記述についても、多くの方に御回答いただきました。集約したところ、主として以下のような御意見がありました。

◆「学校における子供たちの学習や活動を支援するために、取り組んでみたいことや取り組むことができそうなこと」

○校内における教育活動における支援（学習活動の補助、学校行事の準備・運営補助、読み聞かせなど）

○校外学習の引率補助 ○校内の環境整備（花壇や図書の本棚の整備など）

○学習活動における講話（保護者や地域の方が仕事の大切さや地域の魅力を伝えるなど）

◆「本校の子供たちの様子や教育活動における成果や課題」

○教育活動の内容や指導・支援に関すること

○望ましい挨拶や言葉遣いに関すること ○登下校時の安全確保に関すること

○新型コロナ対策に関すること ○学校行事（運動会など）に関すること